



OpenShift Container Platform 4.1

サポート

OpenShift Container Platform 4.1のサポート

OpenShift Container Platform 4.1 サポート

OpenShift Container Platform 4.1のサポート

法律上の通知

Copyright © 2020 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本書では、OpenShift Container Platform についての Red Hat サポートを得る方法についての情報を提供します。また、Telemetry および Insights Operator を使用したリモートヘルスマニタリングについての情報も含まれます。

目次

第1章 サポート	3
1.1. サポート	3
第2章 クラスタに関するデータの収集	4
2.1. RED HAT サポート用のクラスタについてのデータの収集	4
2.2. クラスタ ID の取得	4

第1章 サポート

1.1. サポート

このドキュメントで説明する手順に関連した問題が発生する場合は、[Red Hat カスタマーポータル](#)にアクセスしてください。カスタマーポータルから、以下を行うことができます。

- Red Hat 製品に関する技術サポート記事の Red Hat ナレッジベースの検索またはブラウズ。
- Red Hat サポートに対するサポートケースの送信。



注記

サポートケースを送信する際、Red Hat サポートのトラブルシューティングに役立つ以下の情報を提供していただくことをお勧めします。

- **oc adm must-gather** コマンドを使用して収集されるデータ
 - 一意のクラスター ID
- 他の製品ドキュメントへのアクセス。

本書の改善が提案されている場合や、エラーが見つかった場合は、**Documentation** コンポーネントの **OpenShift Container Platform** 製品に対して、<http://bugzilla.redhat.com> から Bugzilla レポートを送信してください。セクション名や OpenShift Container Platform バージョンなどの具体的な情報を提供してください。

第2章 クラスターに関するデータの収集

サポートケースを作成する際、多くの場合、ご使用のクラスターについてのデバッグ情報を Red Hat サポートに提供していただくと Red Hat のサポートに役立ちます。

以下を提供することが推奨されます。

- [oc adm must-gather](#) コマンドを使用して収集されるデータ
- [一意のクラスター ID](#)

2.1. RED HAT サポート用のクラスターについてのデータの収集

oc adm must-gather CLI コマンドは、以下のような問題のデバッグに必要な可能性のあるクラスターからの情報を収集します。

- リソース定義
- 監査ログ
- サービスログ

前提条件

- **cluster-admin** ロールを持つユーザーとしてのクラスターへのアクセスがあること。

手順

1. **oc adm must-gather** コマンドを実行します。

```
$ oc adm must-gather
```

これにより、データ収集を実行する際にクラスターで Pod が作成されます。収集されたリソースおよびクラスターからのデータはすべて、**must-gather.local** で始まる新規ディレクトリーの現行ディレクトリーに保存されます。

2. **must-gather** ディレクトリーから圧縮ファイルを作成します。たとえば、Linux オペレーティングシステムを使用するコンピューターで以下のコマンドを実行します。

```
$ tar cvaf must-gather.tar.gz must-gather.local.5421342344627712289/
```

3. 圧縮ファイルを [Red Hat カスタマーポータル](#) 上のサポートケースに添付します。

2.2. クラスター ID の取得

Red Hat サポートに情報を提供する際には、クラスターに固有の識別子を提供していただくと役に立ちます。OpenShift CLI (**oc**) を使用するか、または OpenShift Container Platform Web コンソールを使用してクラスター ID を取得できます。

前提条件

- **cluster-admin** ロールを持つユーザーとしてのクラスターへのアクセスがあること。
- OpenShift Container Platform CLI (**oc**) がインストールされていること。

手順

- OpenShift CLI (**oc**) を使用してクラスター ID を取得するには、以下のコマンドを実行します。

```
$ oc get clusterversion -o jsonpath='{.items[].spec.clusterID}'
```

- OpenShift Container Platform Web コンソールを使用してクラスター ID を取得するには、以下を実行します。
 - a. **Administration** → **Cluster Settings** に移動します。
 - b. 値は **Overview** タブの **Cluster ID** フィールドから利用できます。